

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005年 3月 30日作成)

|                     |   |            |
|---------------------|---|------------|
| 委員会名                | 接合部防水小委員会   | 主 査 名：小野 正 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会) | 材料施工委員会 (防水工事運営委員会)   | 委員長名：嵩 英雄  |
| 設 置 期 間             | 2002年 4月 ～ 2005年 3月   |            |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画  | 建築物の外壁は、工場成形部材や現場施工の RC 壁で造られる。これら外壁の目地の防水性を確保するために、シーリング材やガスケットを施工する。当小委員会では、シーリング材・ガスケットの要求性能を明確にし、性能設計するための設計技法と性能評価手法の開発を目的に、調査研究を進めてきた。                      |            |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))  | 小野 正 (清水建設)、大澤 悟 (竹中工務店)、山田人司 (ハザマ)、岩田克博 (横浜ゴム)、上野 至 (北星ゴム工業)、佐々木哲也 (高橋カーテンウォール)、千葉文彦 (YKKap)、角田 隆 (大成建設)、野口 修 (マサル)、菊地 哲 (旭硝子)、吉池佑一 (千葉大学)、宮内博之 (東工大)、添田智美 (フジタ) |            |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)  | 耐久設計検討 WG<br>新材料・構法 WG  |            |
| 2004 年度予算           | 60,000 円  |            |

| 項 目                   | 自己評価   |
|-----------------------|--|
| 委員会活動状況<br>(開催日・参加人数) | 2004.5.25 6名, 2004.10.1 7名, 2004.12.2 9名, 2005.2.17 8名   |
| 得られた成果                | <p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(1) 本年度の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーリング材の複合耐久性試験、圧縮セット試験、疲労試験など実施</li> <li>・ガスケットの耐熱試験、圧縮セット試験を計画・実施</li> </ul> <p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーリング材の耐久性のグレード化ができた。</li> <li>・シーリング材の簡易耐久性評価の検討に着手した。</li> <li>・ガスケットの耐久性評価の方向性を見出した。</li> <li>・研究成果を日本建築学会大会に2編、仕上学会1編投稿した。</li> <li>・引き続き検討を進め、性能設計ができるように進める。また、JASS8の付録に評価方法と設計方法を掲載できるように、新しい小委員会で検討を継続する。</li> </ul> |
|                       | 委員会 HP アドレス：   |
| 目標の達成度                | (当初の活動計画と得られた成果との関係)<br>当初計画した研究は、全て着手したが、一部の耐久性試験が未了であり、継続して試験を進める予定。   |
| その他評価すべき事項            | 特になし。  |